

市場化テストモデル導入の 実施について

岡山県総務部行政改革推進室

「スリムで効率的な県庁」の実現

改訂第三次岡山県行財政改革大綱(17年12月策定)

民間委託の推進

次の事項に留意した上で、民間との協働の視点や他の取組事例等も参考としながら、民間委託の取組をより一層推進する。

- ()民間でできる事業は民間で行うことを基本とし、可能なものについては積極的に民間委託を行う。
- ()直営で行う場合との費用対効果の比較を行うとともに、県民サービスへの影響も勘案する。
- ()事務事業の内容によっては、委託だけではなく、労働者派遣法に基づく派遣職員の活用も検討する。
- ()個人情報等の保護を必要とする事務事業であっても、契約における責任の所在の明確化、機密性保持の担保等により委託が可能になる部分については、民間委託を行う。
- ()公権力の行使に係る事務であっても、それに付随する事務などについては関係法令に抵触しない範囲で民間委託を行う。

市場化テストの位置付け

「スリムで効率的な県庁の実現」のため、計画的な民間委託推進



民間委託推進計画(19年1月策定)

～民間活力の導入による効率的・効果的な行政サービスの提供を目指して～

市場化テストの導入

業務の民間開放を進めていく上で一つの有効な手法と考えられることから、その導入に向けた取組を積極的に進めることとする。

なお、この導入に当たっては、実際の制度運用に当たっての課題等について十分検証を加える必要があることから、公舎等管理業務について平成20年4月の委託に向けモデル導入を進めていくこととし、このモデル導入も踏まえ適切かつより有効な制度運営を検討した上で、対象業務の拡大を目指していくこととする。

市場化テストモデル導入の実施

- 対象業務の選定

- 職員公舎・寮（岡山市内5箇所）の管理業務（7業務）

- 選定の経緯

- 事務事業総点検(18年度)の結果、民間委託を進める事業を抽出



- 抽出事業の中で「職員公舎・寮の維持管理業務」を候補に検討

（理由）・一部業務（修繕・退居確認）は、既に委託を実施
・同種業務(賃貸住宅管理)は民間で広く実施

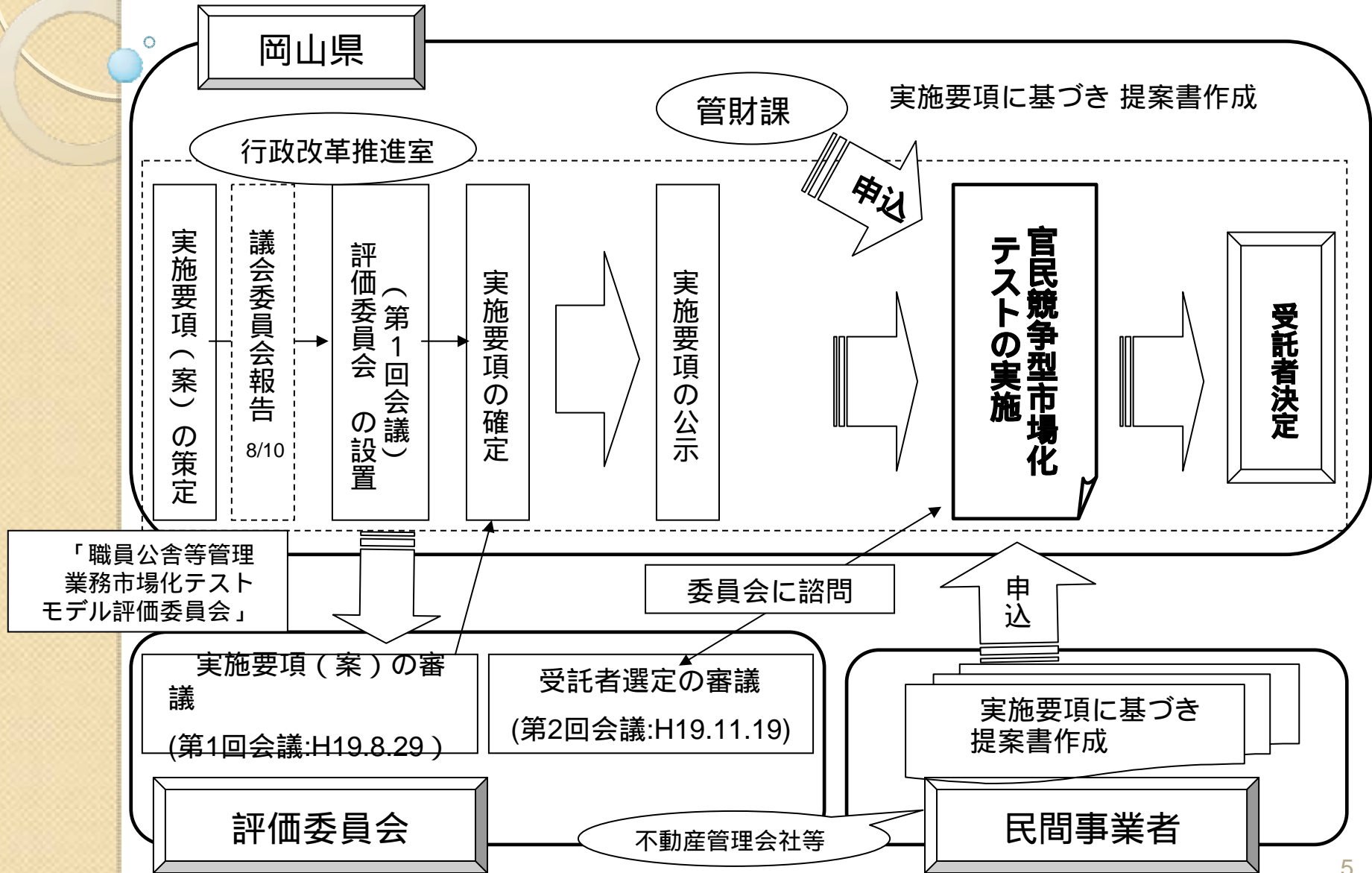


- 入退居業務・設備点検業務などを加え、全面委託を検討



- 民間委託推進計画の中で位置付け

モデル導入事業実施フロー



評価委員会の設置

- 事業実施にあたり、
透明性、中立性、公正性を確保が必要



- 「職員公舎等管理運営業務市場化テストモデル評価委員会」の設置
- 委員数 5名
委員構成：学識経験、会計経理、経済界、
建築、生活者・利用者
- 委員会開催状況 2回
実施要項の審査、提案書の審査

実施要項等の作成について

- **職員公舎等管理業務市場化テストモデル
実施要項**
 - 市場化テスト法の手続きに準じて作成
 - 評価委員会の審議を経て作成
 - 対象業務の具体的内容
 - 募集に関する事項
 - 提案書の評価方法及び落札者の決定方法
 - 民間事業者が落札者として決定した場合の取扱い
 - **総合評価一般競争入札実施による必要書類**
 - 「要求水準書」
 - 「落札者決定基準」
 - 「入札説明書」
 - 「総合評価一般競争入札参加資格審査説明書」

予定価格の設定・公表

- **総合評価一般競争入札による実施のため予定価格を設定**
 - 業務担当課の管財課で積算
 - 直接事業費(業務委託料、担当職員人件費など)に、間接人件費(経理、法制、出納担当人件費)や消耗品等の額を加算。
- **予定価格の事前公表**
 - 官民競争の公平性を担保

評価方法について

● 総合評価値の比較

○ 事業計画書等の評価は、評価委員会で実施

- 総合評価値 = 提案内容評価の得点 ÷ 入札価格 × 10の7乗

- 提案内容評価の得点 = 基礎点 (200点) + 加算点 (400点)

- 基礎点

- 業務要求水準をすべて満たしているか

- 加算点

- 県が重視する評価項目について提案が優れていると認められるものに加算

- 評価項目

- 業務コスト削減の工夫、快適な居住空間の創出、空室管理、情報の機密保持、災害等緊急時対応、受託業務報告、事業終了時の確認など7項目 13基準

官民競争入札の結果

- **結果** **民が落札**

(参考) 説明会参加 9 事業者
 入札参加 4 事業者

- **効果**

経費

- ・ 18年度所要額との比較
 9,642千円(3年間)

サービス向上の提案内容

- ・ 24時間受付
- ・ 入居者アンケートの実施

今後検討すべき課題

- **市場化テストモデル実施結果報告書
（20年3月）で分析した検討課題**
 - 1 **対象業務の選定方法**
 - 2 **評価方法**
 - 3 **官民間の公平性の確保**
 - 4 **入札額（官側）の算定方法**
 - 5 **実施フローについて**
 - 6 **実施状況の把握**

対象業務の選定方法

- **課題**

- 公共サービスのうち民間開放が望ましい業務とは
 - 官民の考え方が必ずしも一致しない
- 対象業務の選定に民間事業者の意向の反映が必要ではないか。



- **今後の検討項目**

- 対象業務選定に民間事業者の意見募集
- 民間事業者のインセンティブが働く方策の導入
- 民間事業者の参入促進に向けた取組工夫の検討

評価方法

- **課題**

評価に当たり、技術点と入札価格のバランスをいかにとるか



- **今後の検討項目**

除算方式と加算方式の特性を踏まえ、基準・類型化が必要ではないか

官民間の公平性の確保

- **課題**

- 実施要項、評価基準の策定は、対象業務に関連した知識・情報が必要
- 官側担当課が関与せざるを得ない。



- **今後の検討項目**

- 担当課が関与せざるを得ない実態を踏まえた上での公平性の確保
 - 入札条件や評価基準への民間事業者の意見反映
 - 評価委員会の関与の促進
 - 民間事業者に対する情報開示の促進
 - 選定結果のより詳細な内容の公表等

入札額(官側)の算定方法

- **課題**

- **モデル導入事業では、入札額について官民調整を行っていない。**
 - 官民競争入札対象業務が限定的であった
 - 国においては入札額の算定について、官民間の相違点を踏まえた調整を行う



- **今後の検討項目**

- **官側の入札額の設定に関する基準等の整理**
- **積算内訳、退職給付金の積算内容、間接部門の範囲など入札額の調整等を実施する際の基準、考え方、手続の整理**

実施フローについて

- **課題**

- 対象業務選定からモデル導入まで2か年度にわたる取組となった
- 選定委員会設置や実施要項策定など、通常の総合評価一般入札に比べ、業務量が増加
- 市場化テストを本格的に活用するためには、**手続内容の合理化、期間の短縮が必要ではないか**



- **今後の検討項目**

- 標準的なフローが必要ではないか
- 作成すべき書類の整理が必要ではないか

実施状況の把握について

- **課題**

- 対象業務の実施状況を的確に把握することが必要ではないか。
 - 市場化テスト導入の目的である価格と質の両面における公共サービスの向上を確実にするため



- **今後の検討項目**

- 対象業務の実施状況を把握するための手法の検討
- 客観的な把握、評価が行えるような質の設定、把握・評価の実施主体・手法
- 問題が確認された場合の対応方法、契約上の取扱

岡山県における市場化テストの 今後の進め方

- モデル導入を行った職員公舎等管理業務の実施状況等について継続的な検証
- 国、他県の取組の状況の把握



適切で有効な制度運営を検討し、
対象業務の拡大を目指す